

No. 16—02

平成 28 年 1 月 13 日

神奈川トヨタを始めとする地元企業 44 社、
「第 97 回 全国競技かるた 横浜大会」を協賛
～「競技かるた」の全国大会で最も古い歴史を持つ「横浜大会」に 885 名が参加！～

神奈川トヨタ自動車（取締役社長：市川英治 本社：横浜市神奈川区）は、「競技かるた」の同好会「横浜集会」（はやぶさかい）の主催、（一社）全日本かるた協会の公認、神奈川県、横浜市、神奈川新聞社の後援により開催される「第 97 回全国競技かるた横浜大会」に対し、地元企業 43 社とともに協賛を行なう。

昨年この大会が、「競技かるた」人気の高まりを背景に、人数制限を超える参加希望があったことから、本年は、有段者(A～C 級)と無段者(D 級)で、開催日、会場を分けて実施する。1 月 17 日(日)に、KT グループ myX(マイクス)ビルで有段者(ABC の各級)計 485 名が競技を行ない、2 月 7 日(日)に鶴見大学体育館で、無段者(D 級)約 400 名(予定)が競技を行なう。合計で約 885 名の参加を見込んでいる。

神奈川トヨタは、本大会に対し日本の伝統文化の維持・普及にむけた社会貢献活動の一環として、創業当初より支援を続けている。（一社）全日本かるた協会公認の「競技かるた」の大会は、「競技かるた」の最高峰を決める「名人位・クイーン位決定戦」などのタイトル戦以外に、級別男女混合で行われる「全国大会」が年間 49 回、全国各地で開催されており、「横浜大会」はそのなかの一つ。全国大会のなかでは「大阪大会」と並びもっとも古い歴史を誇り、規模、参加者のレベルにおいて、有数の大会とされている。

「競技かるた」は各段位ごとに 2 人 1 組で行なうスポーツ競技の一種。百人一首の「下の句」が書かれた字札 100 枚から 50 枚を選んで使う（競技ごとに毎回変わる）。読み手が「上の句」を読み上げたとき、選手はその和歌の「下の句」の字札を取る（したがって百人一首を暗記していることが競技参加の前提となる）。

競技では最初に取り札を自分(自陣)と相手(敵陣)双方が、各々 3 段に 25 枚ずつを並べ、その後、暗記時間(15 分)があり、選手は札の位置を暗記する。読み手は 100 首すべてを読むが、並んでいる札は 50 枚なので、自陣にも敵陣にもない「空札」が 5 割ある。誤っていずれかの札に触れると「お手付き」となり、相手がお手付きをした場合は敵陣に 1 枚札を送り自陣は札が 1 枚減る。自陣の札を取った場合はその札は後ろに置き自陣は 1 枚減る。また、敵陣の札を取った場合にはその札を敵陣から除くと同時に自陣から好きな札を敵陣に送る。以上を繰り返すことで、先に自陣の札がなくなった方が勝ち、となる。

「競技かるた」では、100 首の「上の句」の何音目で「下の句」が確定するかの「決まり字」がカギとなる。1 字決まりが 7 首、3 文字目までで「下の句」が確定する歌は 86 首ある。1 字決まりの和歌「村雨の露も未だ干ぬ榎の葉に 霧立ち昇る秋の夕暮」(寂蓮法師)

を例にとると、1字目「む」で、「下の句」＝「霧立ち昇る秋の夕暮」は確定し、その札を払う速さ、正確さが勝負を決める。したがって、「かるた競技」の選手は、単に百人一首を暗記するだけでなく、「決まり字」に精通することが必須となる。

有段者を対象に1月17日に行われる大会は、トーナメント形式で7回戦（一回戦約90分）まで、優勝者を決める最終の「決勝戦」は午後8時半頃となり、瞬発力と記憶力に加え、気力・体力の強靭さが要求される。静寂のなか、約三百畳の畳が敷き詰められた会場で、百人一首(上の句)が朗々と読誦されると、次の瞬間に目にも止まらぬスピードで札を払う。その静と動の対比は「日本文化の伝統」を実感させる瞬間といえる。

◇ 「横浜隼会」について

創立100年を越す歴史を持ち、有段者ら約80名が所属、毎週2日、横浜市内で「競技かるた」の練習にいそしんでいる。なお、神奈川トヨタには横浜隼会所属の「競技かるた」永世クイーン渡辺令恵（ふみえ）が在籍する。近年、学校教育で日本の伝統文化・古典に親しむ機会として競技かるたを見直す気運が高まっており、授業に「競技かるた」を取り入れる学校も出ている。神奈川トヨタでは学校からの要請に応え、各校に講師として渡辺を派遣し、「競技かるた」を通じ教育活動の一翼を担っている。

記

■ 「第97回 全国競技かるた 横浜大会」

◆ 有段者大会

日時 平成28年1月17日(日) (開会式)9時15分～ (競技開始)10時

会場 KTグループマイクスビル 10階大会議室ほか

横浜市神奈川区栄町7-1

◆ 無段者大会

日時 平成28年2月7日(日) (開会式)9時15分～

会場 鶴見大学体育館

横浜市鶴見区鶴見2-1-3 (JR鶴見駅西口下車 徒歩5分)

主催 横浜隼会

公認 (一社)全日本かるた協会

後援 神奈川県、横浜市、神奈川新聞社

協賛 神奈川トヨタをはじめとする地元企業 全44社

- ※1. ご取材くださる皆様は恐れ入りますが、あらかじめ下記担当までご一報ください。
- ※2. 競技中は撮影禁止です。一回戦(10時頃)、二回戦(12時頃)のそれぞれの開始前に、数分撮影時間が設けられます。
- ※3. 1月17日当日は、横浜隼会の真木保臣氏(六段)と柳下勇作氏(五段)がご対応し解説いたします。

本件についてのお問合せ先
神奈川トヨタ 渉外広報部
黒澤(室長)・小西・佐藤
TEL045-459-2216